



## 日常を離れて ～ 宿泊研修・修学旅行 ～

校長 丸岡 哲也

先週の21日(水)は、二十四節気の夏至でした。日の出から日の入りまでの時間が最も長く、15時間23分47秒ありました。しかし、夏至が最も日の出が早く、日の入りが最も遅いということではありません。(実は昨年知りました。秒単位のレベルです。)日の出が最も早いのは夏至よりも前の6月15日(木)で3時56分39秒、日の入りが最も遅いのは夏至よりも後の6月28日(水)で19時21分47秒でした。もうすでに、昼間が最も長い日も、日の出が最も早い日や日の入りが最も遅い日も過ぎていますが、気温は8月上旬をピークにまだ上がります。朝より夕方に活動することが多い人にとっては、夕方が今よりも暖かいことで、活動や楽しみの時間が持てそうです。

5月の運動会に続き、6月は高学年にとっての大きな学習の場である宿泊研修(5年)、修学旅行(6年)が行われました。共に天気にも恵まれ、屋外での活動である見学や自主研修が計画どおり行うことができました。これらの行事は、宿泊を伴うことから学校では「遠足・集団宿泊的行事」に分類され、「旅行的行事」とも言われています。学校や家庭を離れ、いつもと異なる生活環境の中で、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築いたり、集団生活の在り方を考えたりすることが目的です。

私が引率に当たった宿泊研修では、野外活動として炊事を行いました。火起こしをする『かまど班』、米をとぐ『飯盒班』、カレーライスの具材を切る『カレー班』に分かれて活動を開始しました。この開始時の分担が決まった後の、さっと取りかかる姿に感心しました。ボランティアスタッフの丁寧な指導はありましたが、やることが明確になり、それら一つ一つがその役割を果たさないと夕食にありつけないという使命感や危機感を持ったのでしょうか。かまど班は、薪のくべ方のアドバイスを受け、火を絶やさないように、かまどは自分たちが守るという気概を感じました。また、米と水の分量が正確でないと、ご飯は上手く炊けません。かといって、家庭にある計量計や計量カップはありません。飯盒班は、飯盒の中蓋すり切れ分をできるだけ正確に計り、米を無駄にしないように、試行錯誤しながらも慎重に作業を進めていました。カレー班は、具材を切るのと同時に、剥いた皮などを片付けたり、流し台全体をきれいにしたり、無駄のない流れるような作業に感心しました。片付けの場面でも、鍋の周りに付いた煤を根気よく落としたり、友達の仕事に手を差し伸べたり、自ら今何をすべきかを考え、最後までやり切ったり、日常を離れた活動の中に、子どもたちのよさやたくましさが見られました。修学旅行では、暑さから体調を崩しかけた際に、機転を利かせて近くの店に入り、冷たい飲み物を買って対応していたという話を聞きました。

宿泊研修や修学旅行では、子どもたちは担任等の手からも離れ、その場その場で自分たちで考え、判断し、行動する体験を積むことができました。これからの学習や活動に生かしていくことを期待しています。

一学期も、あとひと月となりました。6月末の参観日と、7月の個人懇談を通して、子どもたちのこれまでの成長や頑張りを共有し、家庭と学校が同じ方向性を持って、今後につなげたいと思います。よろしくお願いたします。

【教育目標】

『勇氣ある子ども』(全体目標)

- 「自分で考える子」(知)
- 「思いやりのある子」(徳)
- 「たくましい子」(体)

◆今年度の重点

テーマ **思いをカタチに**  
目指す子どもの姿 **自信をもって伝える子**

◇ 7月生活目標 **相手に聞こえるような声で話そう。**

## 体験活動を通して

# 5年宿泊学習 & 6年修学旅行

5年生は6月7、8日に宿泊学習、6年生は21、22日に修学旅行を行いました。

**5年生は**札幌円山動物園を見学後、小樽天狗山にある「おこぼち山荘」に宿泊しました。



夕食のカレー作りでは、協力して手際よく作業している姿をスタッフの方から褒められました。

2日目は小樽の伝統文化・歴史を学ぶため、市街地で自主研修を行いました。道に迷うこともありましたが、グループメンバーで相談しながら行動することができました。



**6年生は**函館駅に到着後、函館市街地においてテーマや課題をもとに自主研修を行いました。路面電車も使い、自分たちが立てた計画に基づいて函館の街を巡り、学習を進めることができました。夜は、楽しいホテルでの時間、函館山からのきれいな夜景と充実した時間を過ごしていました。2日目には五稜郭公園のタワーや縄文文化交流センターなどを見学しました。

教科書で学んだ知識を深めることはもちろん、友達との絆を更に深める、大切な時間を過ごすことができました。

教科書で学んだ知識を深めることはもちろん、友達との絆を更に深める、大切な時間を過ごすことができました。

## 読書月間

読書月間の取組の一つとして、かなえーるの図書館司書である〇〇さんが、朝の読み聞かせに来てくださいました。



各ご家庭でも家読へのご協力ありがとうございました。

# 避難訓練 (地震) 一日防災学校

6月19日(木)に自分の身を守る「避難訓練」と、防災意識の向上を図る「一日防災学校」を実施しました。

古平町は、地震の揺れ、そして津波による災害も心配されます。今回は、全校児童が高台(学校上の駐車場)まで避難をしました。



「一日防災学校」では、子どもたちが自らの命を守る力を身に付けられるよう様々な学習を行いました。



1・2年生は、「防災カルタ」を行い、遊びを通して、防災に関わる言葉に触れました。



3・4年生は、札幌管区气象台の方にも教室に入っただき「非常品持ち出しゲーム」を行いました。



5・6年生は、古平町役場防災担当の職員より、古平町で予想される災害について話していただきました。また、避難所に設置される目隠しのテント、段ボールベッド、簡易トイレなどの防災用品を紹介していただき、緊急時の生活について、体験をすることができました。



先日も緊急地震速報が流れました。震災はいつ起きるかわかりません。ご家庭においても、「緊急時の待ち合わせ場所」など、機会を見つけて相談してみたいかがでしょうか。